

---

## ポリオ根絶の達成に向けて ポリオプラス・ソサエティ(PPS)

---

ご存じの通り国際ロータリーの最優先事項は「ポリオの根絶」です。GPEI(世界ポリオ根絶推進活動)では、2026年を根絶目標年としており、根絶までもう少しというところまでまいりました。

然しながら、自然災害、政治紛争などの厳しい状況下で根絶資金の確保は今まで以上に大切になっております。このほど、各地区にて主導していただくPolioPlus Society(ポリオプラス・ソサエティ:PPS)というプログラムのご紹介とご参加のお願いをしたいと思います。

### ➤ ポリオプラス・ソサエティ(PPS)とは

このプログラムは、あと少しとなったポリオ根絶までの活動資金の安定と増加にご協力いただくため、地区単位でポリオ根絶まで毎年100米ドルを「ポリオプラス」にご寄付いただくロータリー会員の参加・登録を進めていただくものです。

ポリオプラス・ソサエティの始まりは2016年にさかのぼります。第5110地区(アメリカ、オレゴン州)の当時のデル・グレイ地区ガバナーとバンド・ハイ・デザートロータリークラブのハリエット・シェロアー氏の考案によるものでした。第5110地区がこのプログラムを始めると間もなく他の地区でもPPSプログラムの導入を始めました。その後、第27ゾーン、第26ゾーンの地区へと導入が広まり、その後、世界の各地区での活動に広がっています。

### ➤ ロータリー財団とポリオプラス・ソサエティ(PPS)、日本国内での推進

隔月で行われる世界のポリオ根絶コーディネーター(EPNC)ZOOM会議においてPPSプログラム導入を各地域において進める打ち合わせが行われてきました。そして、ロータリー財団管理委員会において2022年10月に「クラブと地区が運営するPPSを支持し、独自の寄付者認証のガイドラインを作成することに同意する」ことが決定されました。

日本国内3地域のポリオ根絶コーディネーターが打ち合わせを重ね、昨年のロータリー研究会でジェニファー・ジョーンズRI会長からの依頼もあり、3地域において同時にPPSプログラムを推進することとなりました。

### ➤ ポリオプラス・ソサエティ(PPS)登録者へバッジ・登録証の贈呈と寄付の扱い

このプログラムには、すでに世界の多くの国々のロータリー会員が参加しており、ロータリー財団の「ポリオプラス」へ毎年100米ドルの寄付をお約束いただいた方には登録証とソサエティメンバーのピンバッジを受取っていただくことになっております。

なお、このご寄付はロータリー財団の寄付実績に反映され、ポール・ハリス・フェロー認証の対象となり、クラブ・地区の実績にも反映されます。また、ビル&メリンダ・ゲイツ財団より2倍の上乗せがございます。なお、例えば3年分として一括300ドルを寄付されると、1年目300ドル、2年目・3年目はゼロとしての計上となってしまいますのでご注意ください。他の年度の分を一度に寄付するということはできません。

### ➤ 実施は地区主導

案内や手順の詳細につきましては、地区事務所へお問い合わせ下さい。

Email : ri2720gof@eos.ocn.ne.jp

